

1. スケジュールイメージ

ご発注 納入・ご検収

		ご発注前	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月
・紹介 ・要件確認 ・デモ機貸出	標準機能の理解 ご計画策定と現状課題の洗出し	●→				
	標準外要求機能の洗出し 入出力データやアドオン範囲の認識 接続分析計の選定・接続仕様の確認	●→.....→				
	デモ機などの実機を使った運用検証 導入後運用を検討し判断	●←				
・導入準備 ・本稼働	お客様社内のプロジェクトチーム立上げ ベンダーとの打ち合わせに向けたメンバーのアサイン	●→	●→			
	お客様社内システム構成の把握 納入にあたっての関係各所との調整 教育対象者の決定			●→		
	ハードウェア準備(サーバー、ネットワーク、UPS等) ソフトウェア準備(OS、SQL、Excel)	●→				
	契約締結後、お客様にてマスタ整備 検収終了後は保守サポートサービスに移行		●→			
			●→			

2. 導入時のポイント

①導入検討前準備

LabDAMS®の機能を理解する際に現状の運用について事前に把握しておくことが重要です。
標準機能で対応出来ない運用や現状の課題(何が不便・問題だから検討するのか)を把握します。
プロジェクトをスムーズに進めるために、カスタマイズを適用するか、パッケージを適用するか、
運用面だけでなく、投資対効果の観点からも、検討が必要になります。

②分析計接続の検討

分析計の重要度に応じてランク付けしておき、最終的に接続する分析計の選定を行います。
事前に接続する分析計の取り扱い説明書等で接続仕様を確認しておきます。

③社内体制の構築

ベンダーに相対する窓口要員や情報システム部門などのアサイン頂くとスムーズに打合せが
進みます。また、意思決定者をアサイン頂くことも重要です。

④必要機器の調達

ベンダーが提示するスペックに従って、若干余裕をみた仕様のハードウェアを調達します。(ソフトウェアも同様)
サーバーをデータセンターに置く場合は、データセンター側の仕様や月額費用などの確認を行います。

⑤マスターの準備

ベンダー側が提示するフォーマットに従ってマスターの設定を進めていきます。
まずは代表する一品目について全ての業務が流れるように設定していくことがポイントになります。